



# パワー (電力・動力)

2010

秋

株式会社 **ホンマ電機**  
情報紙60号

発行所  
株式会社 ホンマ電機  
神奈川県相模原市南区上鶴間1丁目12-1  
電話 042(746)1616(代)  
ホームページ **ホンマ電機** 検索  
発行責任者 本間俊三

## 今年の猛暑、30年に一度の異常気象

気象庁見解

この夏の記録的な猛暑について気象庁は9月、「30年に一度の異常気象」との見解を発表。

日本付近を流れる偏西風の蛇行や海水温上昇、それに今春まで続いたエルニーニョ現象が主な原因といえます。今後10月半まで、平年より気温が高い状態が続く可能性があるとの見通しです。

また、この夏は梅雨明け後に日本付近の上空を流れる偏西風が北側に大きく蛇行、太平洋高気圧と大陸からのチベット高気圧の勢力も強まりました。更に南米ペルー沖で春まで続いたエルニーニョ現象と、今夏新たに起きたラニーニャ現象の影響が重なり、北半球の中緯度地域の空気が暖められたことが、記録的な気温の上昇となつたそうです。

### ■東京電力担当者の談話

この夏の最大瞬間消費電力は599.9万キロワットを記録したが、これは過去24位。過去最大記録の平成13年7月24日の気温が37.5度であったのに対し、管内での今年

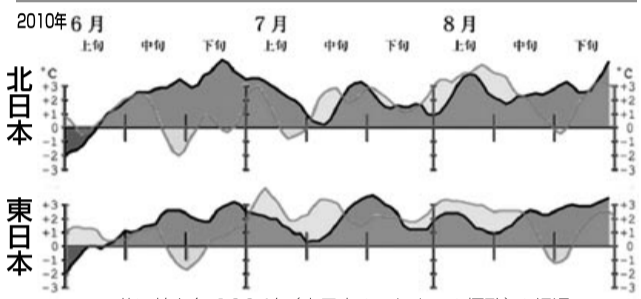
の最高気温は35.7度と低かったのが原因。しかし猛暑日が長く続く多かつたようです。

### 猛暑の「怪」気温、エアコン記録更新も、消費電力量は2位(産経新聞9月30日15時配信)

#### ■省エネ型普及? 検針日違い?

秋となっても残暑を感じる日の多かつた今夏の猛暑。8月の平均気温は各地で過去最高を記録、飛

### 2010年夏(6~8月)の気温経過



※薄い線と色:1994年(東日本のこれまでの極致)の経過

ぶように売れたエアコン。だが最近明らかになった全国家庭での電力消費量は、意外にも過去最高と

はならず、気温が平年並みだった平成20年の「後塵を拝する」結果に。「省エネ型エアコンの普及」

「検針日数の違い」などの推測はあるが、明確な理由は不明で謎を呼んでいます。

気象庁によると、今夏(6~8月)の全国平均気温は、明治31年の統計以来、最高でした。

猛暑を反映してエアコンは増産ラッシュ。日本電機工業会によると8月のエアコン出荷台数は、データを確保できる昭和47年以降最高の84万7千台と

高の84万7千台と。ところが全国の電力会社10社が加盟する電気事業連合会がまとめた8月の家庭用電力販売量速報値は、27.3億1800万キ

ロワットで、前年同月を9.5%上回ったものの20年8月を1.7%下回り、過去2番目でした。

気象庁では、20年8月の気温は「平年並みで、特別暑かつたわけではない」と。何故猛暑の今年に記録更新がならなかったのか。

関西電力の担当者は「省エネ型エアコンの普及が要因かも」と推測。ある大手電機メーカーは、省エネ型エアコンは10年前の機種に比べて3~5割の消費電力削減効果があるとも話しています。

ただ、同連合会の担当者は「2年間で急速に省エネ型が普及したとは考えにくい」との指摘も。

これに代わる推論として浮かぶのが「8月分」の定義。検針する日の違いで、世帯によっては7~8月上旬の使用量を8月分に算入するケースもあり、必ずしも全ての世帯の8月使用量を反映した数値ではないと

結句のところ確かな理由が判然としない「猛暑のミステリー」。関係者は首をかしげています。

## 双葉交通(株) LEDランプの最も効果的な適用事例

LEDランプは、まだまだ価格面では他のランプと比較して不利です。しかし、消費電力は他のランプに比べ最も少なく、電気代は安い。

この相反する特性を最も効果的に生かすには、点灯時間の長さで採用すべきです。

その最たる事例として紹介するのは、24時間365日照明を消すことのない、タクシー会社の配車指令室です。照明器具台数は少ないですが、照明はいつも終夜点灯しています。ここに

同所での効果を紹介しましょう。計算式は省略して、器具1台当たり1年間に節約される電気代は1万4700円となります。採用される場合には、台数と年数を加味して試算してみられたらいかがでしょうか。

次に点灯時間が短くても、交換するランプ種によっては大きな効果が期待されます。それは春号で紹介した「赤レンガ倉庫」のように、白熱電球からの移行ある「双葉交通(株)」様です。



LEDランプ 消費電力も電気代も安い。



双葉交通(株)の本社

芝ライテックは、今年3月予定を繰り上げ白熱電球製造から撤退し、華々しく撤退式まで行いました。国は平成24年までに白熱電球の製造を終了すると、洞爺湖サミットで宣言しました。



向坂 剛氏



宮崎 義親氏



三浦 重光氏

### ■勤続5年社員を表彰

当社規定により勤続5年社員

を表彰。副賞5万円の使途は奥様の希望に添い、家庭で日常使う品物を選択しているようです。



「祝賀の舞」

### ■山形県人東京連合会の総会

ホテルニューオオタニの総会にて当社専務が踊りを披露。



会員1,600人が参加した山形県人会



中和田自治会盆踊りの電気工事が完了する

### ■夏祭り忙しい電気工事

今夏も近隣自治会や神社のお祭りの電気工事が多忙でした。



旭町自治会納涼夏祭り



### ⑤6 近況報告

このイメージマークはサービスマークとして登録されています。



## 相模原 地域ネットワーク

例えば、夏祭りなどの電気工事、自治会防犯灯・商店街街路灯の管理などです。折しも社長は、4月から地中和田自治会会長を担うことになり、近隣自治会役員さんとの交流も増え、話題は自治会運営の悩みにまで及びようになりました。



中和田自治会の防犯パトロールカー

そこで今回は自治会員の減少対策について、中和田自治会の活動を紹介します。相模原市はこの4月から政令都市となり、幾つかの新規事業を打ち出し、その中に『地域活性化事業交付金』があります。この制度に目をつけ、自治会加入促進事業を提案し、この交付金の決定に至りました。事業予算規模は39万円で、加入促進マニュアルとチラシ作り、そして加入促進講演会を主な事業としました。マニュアルは自治会未加入者の意見をよく聞き、そこにスポットを当て、自治会の在り方まで踏み込んだ内容にする予定です。10名ほどのプロジェクトチーム第1回の会合が9月



中和田自治会館

## ● 企業ルポ

**医療法人社団 仁恵会 黒河内病院**  
 〒252-0305 相模原市南区豊町17番36号 ☎042-742-0211 FAX.042-743-8332



黒河内病院



介護老人保健施設 相模大野

# もんじえ祭り盛会の舞台裏



立ち並ぶ飲食店



ジャズの演奏に熱狂する観客たち



観客を酔わせる名演奏

『2010もんじえ』は8月21・22の両日、猛暑の中開催され、約5万5千人の出入で賑わいました。相模大野の商業活性化を目指す新しい動きとして、駅周辺の飲食店とアーティストが協力して企画、今年で6回を数えます。以下は相模大野最大のイベントとして定着した『もんじえ祭り』の実行委員会にスポットを当てました。

『もんじえ』はフランス語で召し上がれという意味で、主催者の心意気を表しています。故に祭りのコンセプトは美味しいがプロの味、格好いいがプロのジャズ演奏家、心地いいは真夏の夕涼み。そして市民の手作りだから店も来場者も共に楽しむものとなっています。今年の第1回実行委員会はまた正月気分が残る1月下旬に開かれ、議題は祭りまでのスケジュールやコンセプトの確認、今年度のアイディアなどが話し合われました。

2回・3回と回を重ねるに従い具体的な議題となり、予算や出店意向確認、舞台の企画などが提案されます。実施に於いての最大課題は、収入の大きな柱となる協賛金。もんじえ祭りでは実行委員や参加店が協賛金獲得に奔走、予定が達成できなかったことで、協賛企業は祭りに大きな期待をもっていただけが窺えます。会場の準備は前日から始まり、テントと舞台設営には特に時間と労力を要し、綿密な打ち合わせと作業スケジュールが求められます。初回より電気担当の(株)ホンマ電機と、前回から舞台やテント担当の(株)カナコーとの連携作業がポイントです。それもスムーズに進行、夕方からは各店舗の仕込みや舞台準備がスケジュール通り行われました。

当日は猛暑の中、各店舗は機材の搬入、料理の仕込みと準備を開始、午後にはお客様が始めました。この暑さで出足は鈍く、日が傾きかけた頃から観客を酔わせる名演奏が響き渡りました。この祭りの輪はさらに大きく広がり、相模大野の発展に大きく寄与することとなるでしょう。



電気工事するホンマ電機社員

## ● お客様紹介 (59)

理事長 黒河内 三郎 氏  
 院長 黒田 賢二 氏  
 施設長 檜山 栄一 氏

受付 診療時間 休診日  
 午前 9:00~12:00 (受付 8:00~11:45)  
 午後 15:00~17:30 (受付 14:00~17:15)  
 休診日 日曜 祝日  
 (但し、救急患者は、夜間、休日、祝日を問わず診察)  
 土曜日は午後 14:00~16:30 (受付 午後 13:00~16:00)

### 黒河内病院 (救急告示指定)

- ・開設 昭和63年7月
- ・理事長(医学博士) 黒河内 三郎氏
- ・院長(医学博士) 黒田 賢二氏
- ・病院増設 平成22年7月(51床)
- ・職員数 180人(老健含む)
- ・駐車台数 60台(無料)
- ・診療科目 内科、外科、消化器、整形外科、脳神経外科、皮膚科、漢方外来、リハビリテーション科
- 介護老人保健施設相模大野  
Tel 042-741-1321
- ・開設 平成10年4月(91床)
- ・施設長 檜山 栄一氏
- ・併設  
訪問看護ステーション相模大野  
Tel 042-767-2332  
居宅介護支援センター相模大野  
Tel 042-741-1321

地域社会に如何に貢献できるかを最優先として、設立以来、地域に密着した救急医療を中心に、外科・整形外科で大きな役割を果たして

きた黒河内病院。現在ではさらに内科を加え、優秀な専門医師とともに、数々の最先端医療機器による充実した医療を提供。病院と三つの関連施設は、地域の医療、福祉、保険のサービス機関として大きな位置を占めています。

近年、特に注目されている同病院の医療では、大半を網羅した整形手術にあって、吉原潔先生の主として内視鏡による椎間板ヘルニアと脊柱管狭窄症の手術です。患者様が全国各地から来院しています。

内科では、漢方専門医による漢方外来。また循環器内科医も加えられ、内科はさらに充実してきています。

特色ある医療機器ではオープンMRIがあります。撮影装置として広く、閉所恐怖感もなく安心して受診できます。

また女性スタッフによるマンモグラフィは世界的な技術を用いた乳房専用の特殊レントゲン装置です。他にはマルチスライスCT、最新胃・大腸内視鏡、血液脈派検査装置、最新超音波診断装置などがあげられます。患者様へのより良い対応として開院時より全職員が心がけている理念が、Smile(笑顔)、Speed(迅速)、Sensibility(豊かな感性)の3S運動です。診療の指針は「病気を診るのではなく、病人を診る」ことにあるとか。

弊社は、本間社長が議員として地域活動を行って以来、同病院の電気関係に携わっています。



オープンMRI



乳房X線撮影装置